

# 感染症週報

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく感染症発生動向調査より

## 目次

1 発生動向総覧	P1～4
2 保健所別の警報状況	P4～5
3 指定届出機関からの特記事項欄コメント	P5～6
4 全数把握感染症集計表	P7
5 定点把握感染症集計表	P8～12
6 定点把握感染症推移グラフ	P13～17
7 定点把握感染症集計表(月報)	P18～21
8 定点把握感染症推移グラフ(月報)	P22～23
9 本県の新型コロナ及びインフルエンザの感染状況の推移等のグラフ	P24～27

(参考)

新型コロナウイルス感染症に関する情報は、P1、P8～10、P12、P15、P24～26に掲載しています。

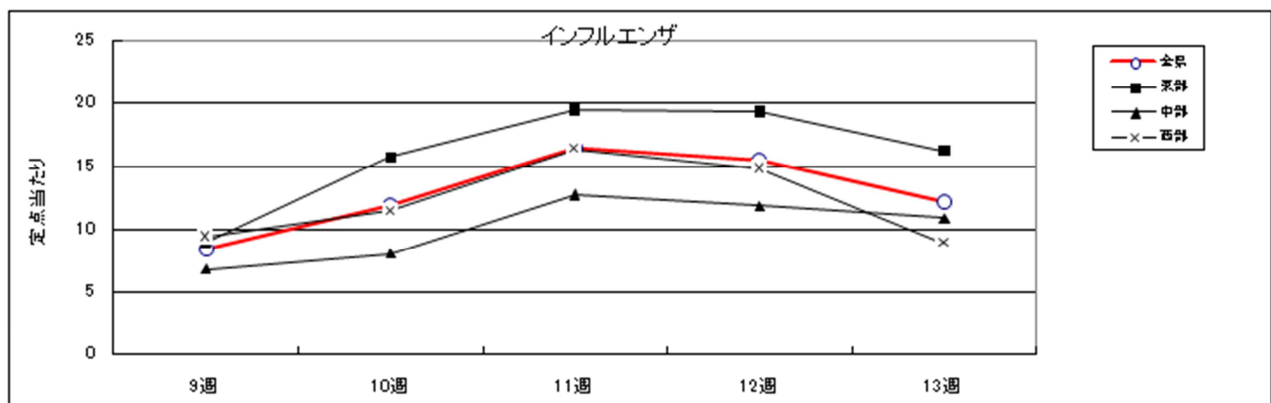
### 【今週のコメント】

第13週(3/25～3/31)の感染症発生動向調査では、静岡県内のインフルエンザの定点当たり報告数が12.15人となり、前週の15.54人から減少しました。

第10週(3/4～3/10)から再び注意報基準値の10人を越え、**注意報レベルの状況が続いています。**

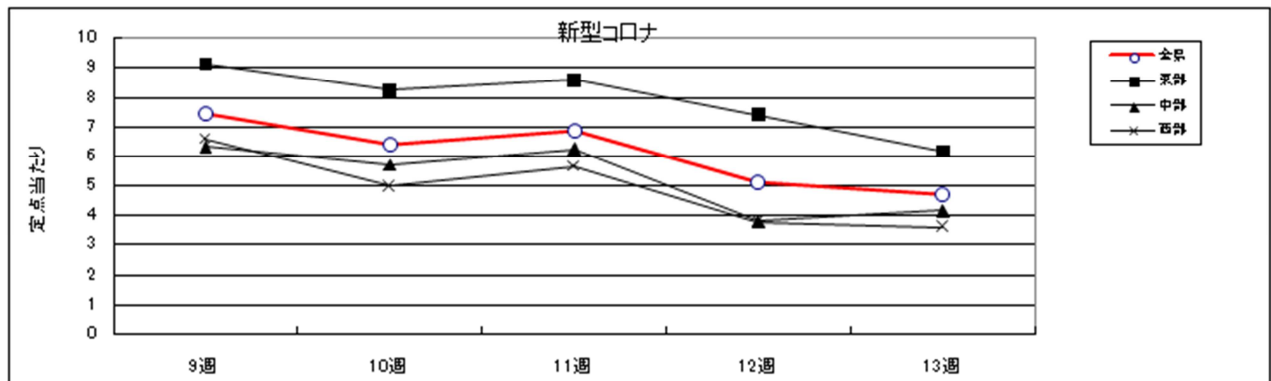
### 【インフルエンザ】

全県で罹患数1,689、定点当たり12.15の患者発生があり、前週の15.54から減少した。定点当たりは、東部地区で16.24、中部地区で10.9、西部地区で8.91の発生があった。



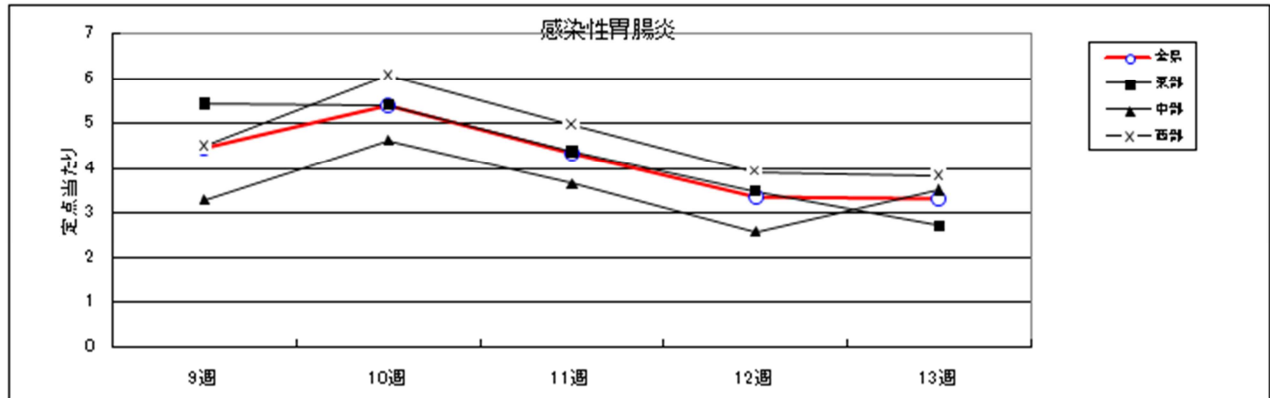
### 【新型コロナ】

全県で罹患数653、定点当たり4.7の患者発生があり、前週の5.09から減少した。定点当たり東部地区で6.16、中部地区で4.17、西部地区で3.62の患者が発生した。



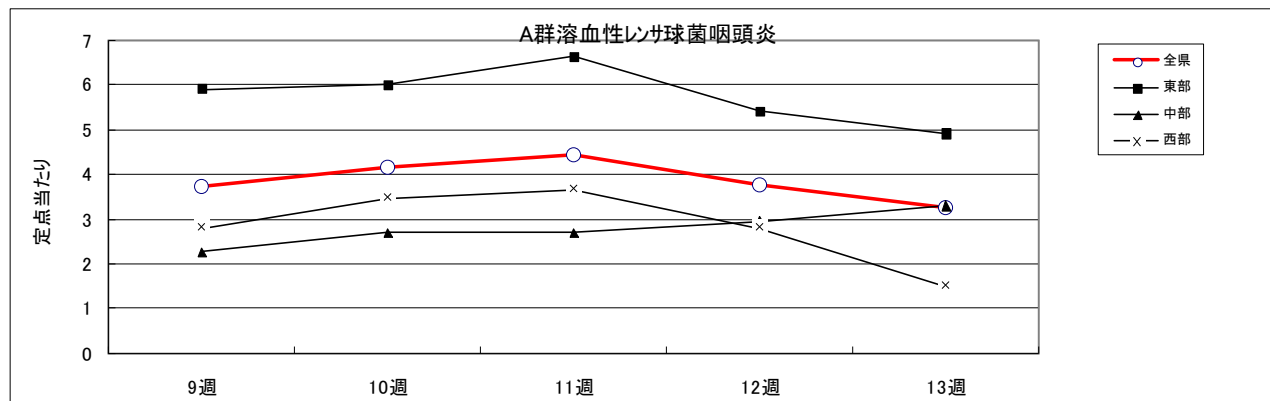
### 【感染性胃腸炎】

全県で罹患数 297、定点当たり 3.34 の患者発生があり、前週の 3.37 から僅かながら減少した。定点当たり東部地区で 2.72、中部地区で 3.52、西部地区で 3.83 の患者が発生した。



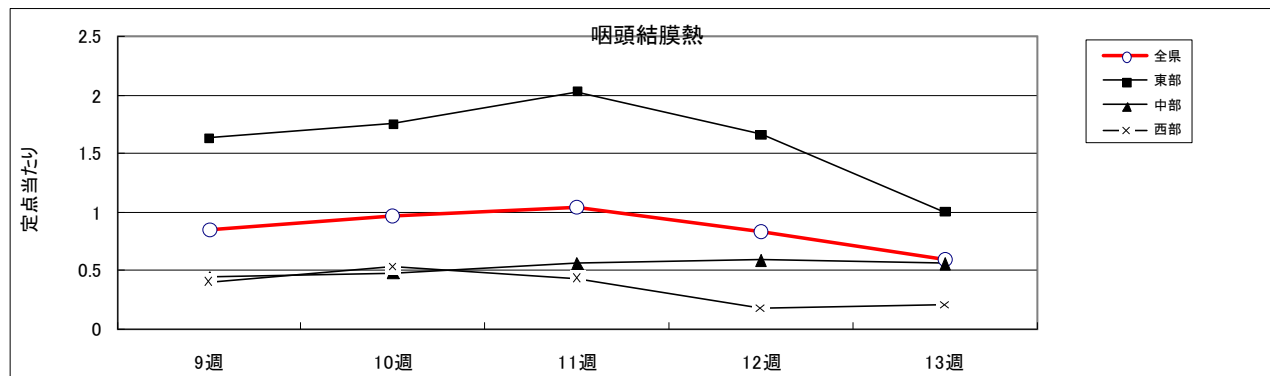
### 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

全県で罹患数 291、定点当たり 3.27 の患者発生があり、前週の 3.79 から減少した。定点当たり東部地区で 4.91、中部地区で 3.3、西部地区で 1.5 の患者が発生した。



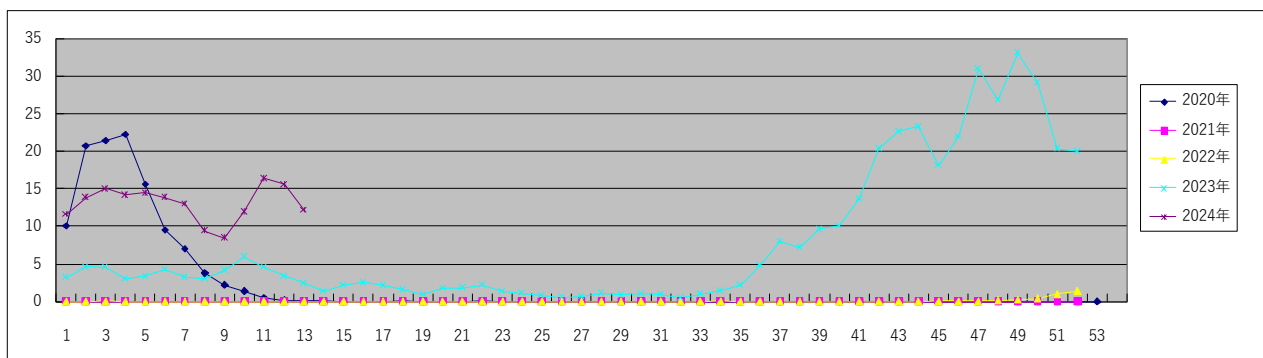
### 【咽頭結膜熱】

全県で罹患数 53、定点当たり 0.6 の患者発生があり、前週の 0.83 から減少した。定点当たり東部地区で 1、中部地区で 0.56、西部地区で 0.2 の患者が発生した。



- ・ 麻疹、風疹は患者発生なし。
- ・ 全国のインフルエンザの発生は 11.18 で前週の 14.08 から減少した。警報レベルの保健所を有する都道府県は 41 から 38 に減少し、注意報レベルの保健所を有する都道府県は 39 から 36 に減少した。
- ・ 静岡県において第 13 週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1) インフルエンザ (12.15)、2) 新型コロナ (4.7)、3) 感染性胃腸炎 (3.34)、4) A 群溶血性連鎖球菌咽頭炎(3.27)、5) 咽頭結膜熱 (0.6)、6) RSウイルス感染症(0.44)であった。

### 【インフルエンザ罹患数推移】

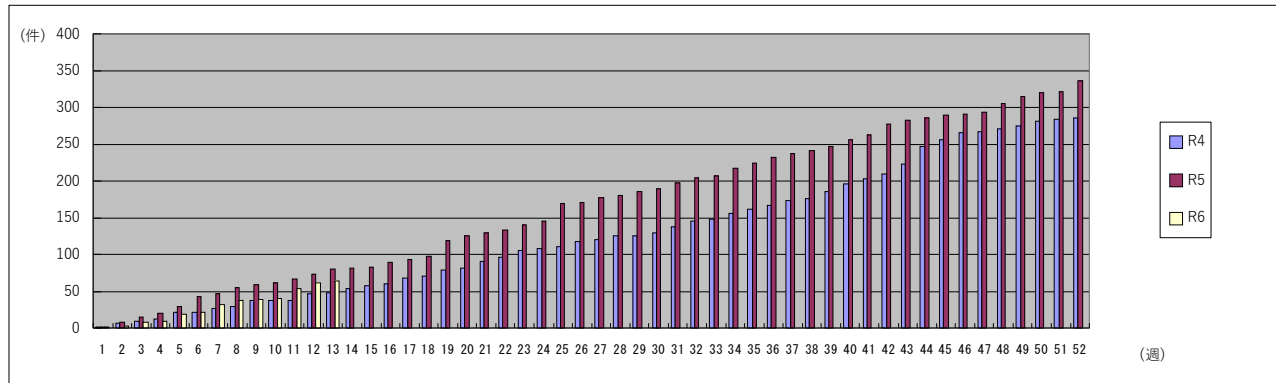


### 【県内衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出状況(2023/2024 シーズン)】(令和 5 年第 40 週～)

週	型	A/H1	A/H3	B/山形	B/Victoria
		pdm09		系統	系統
R5年 第40週～第45週	静岡県	21	36		
	静岡市	5	8		
	浜松市	1	10		
R5年 第46週～第50週	静岡県	9	22		1
	静岡市	1	7		
	浜松市	10	28		5
R5年 第51週～第52週	静岡県	4	12		1
	静岡市	2	2		1
	浜松市	2	13		1
R6年 第1週～第5週	静岡県	14	14		4
	静岡市	11	14		5
	浜松市	7	15		2
R6年 第6週～第10週	静岡県	5	4		12
	静岡市	1	1		16
	浜松市	2	4		18
R6年 第11週	静岡県				4
	静岡市				6
	浜松市				1
R6年 第12週	静岡県				3
	静岡市				6
	浜松市				
R6年 第13週	静岡県		1		6
	静岡市				5
	浜松市				9
合 計		95	191	0	106

【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】

・第13週は前年同期比0.8倍であった。



◆全数届出の感染症

- 1類感染症 報告なし
- 2類感染症 結核(東部(1))
- 3類感染症 報告なし
- 4類感染症 報告なし
- 5類感染症 後天性免疫不全症候群(浜松市(1))、梅毒(浜松市(2))

2 保健所別の警報状況

- 警報 インフルエンザ(御殿場)  
咽頭結膜熱(御殿場)  
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(御殿場)
- 注意報 インフルエンザ(熱海、東部、富士、中部)

警報・注意報・流行期入りの目安(新型コロナウイルス感染症以外)

区分	説明
警報レベル	大きな流行が発生または継続しつつあると疑われる
注意報レベル	流行の発生前:今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高い 流行の発生後:流行が継続していると疑われる
流行入りの目安 (インフルエンザのみ)	定点医療機関あたり患者数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられる

※1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-
感染性胃腸炎	20.0	12.0	-
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	-
伝染性紅斑	2.0	1.0	-
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

## 警報・注意報の目安(新型コロナウイルス感染症)

新型コロナウイルス感染症の警報・注意報の基準値は、静岡県が独自に設定しています。注意報レベルは、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を保健所ごとに設定し、感染者が急増するおそれがある状況を指します。警報レベルは、人口10万人当たり400人以上となった水準を設定し、感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況を指します。国が基準値を設定するまでの間、暫定的にこの基準値に基づき注意喚起します。

保健所名	注意報基準値	警報基準値
賀茂	13.0	26.0
熱海	9.0	18.0
御殿場	8.0	16.0
東部	17.0	34.0
富士	11.0	22.0
県東部地域	10.0	20.0
静岡市	6.0	12.0
中部	8.0	16.0
県中部地域	7.0	14.0
西部	10.0	20.0
浜松市	7.0	14.0
県西部地域	8.0	16.0
県全体	8.0	16.0

## 3 指定届出機関からの特記事項欄コメント

下田メディカルセンター(下田市)「インフルエンザA型 1名、インフルエンザB型 12名」

かわづクリニック(河津町)「インフルエンザB型 15名」

高野医院(伊東市)「インフルエンザA型 1名、インフルエンザB型 14名、新型コロナ 18名」

むらかみ小児科クリニック(伊東市)「インフルエンザB型 26名」

よざ小児科医院(沼津市)「インフルエンザB型 6名、新型コロナ 2名、アデノ咽頭炎 2名」

光ヶ丘小児科(三島市)「インフルエンザA型 8名、インフルエンザB型 45名、新型コロナ 6名、RS 2名、ヒトメタニューモ 2名、咽頭アデノ 6名、溶連菌 23名」

クボタ小児科(三島市)「インフルエンザA型 5名、インフルエンザB型 14名」

なかがわ医院(小山町)「インフルエンザB型 14名」

安田内科小児科医院(御殿場市)「インフルエンザA型 14名、インフルエンザB型 91名、新型コロナ 30名」

富士病院(御殿場市)「インフルエンザA型 2名、インフルエンザB型 44名」

たうち小児科医院(御殿場市)「インフルエンザA型 18名、インフルエンザB型 108名、新型コロナ 21名、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 67名」

お八幡医院(御殿場市)「インフルエンザB型 18名」

井手内科医院(富士市)「インフルエンザ 3名、新型コロナ 7名」

小川小児科内科医院(富士市)「インフルエンザA型 3名、インフルエンザB型 58名、新型コロナ 14名」

共立蒲原総合病院・内科(富士市)「インフルエンザ 14名、新型コロナ 6名」

共立蒲原総合病院・小児科(富士市)「インフルエンザ 5名」

幸治小児科医院(富士市)「インフルエンザ 19名、新型コロナ 6名」

聖隷富士病院(富士市)「インフルエンザB型 1名、新型コロナ 9名」

瀬尾小児科内科医院(富士市)「インフルエンザ 17名、新型コロナ 9名」

田子浦クリニック(富士市)「インフルエンザ 34名、新型コロナ 18名」

谷口小児科医院(富士宮市)「インフルエンザ 17名、新型コロナ 4名」

永松医院(富士宮市)「インフルエンザB型 2名、新型コロナ 7名」

平野医院(富士市)「インフルエンザ 2名、新型コロナ 3名」  
 富士市立中央病院(富士市)「インフルエンザ 1名、新型コロナ 8名」  
 富士宮市立病院(富士宮市)「インフルエンザ 4名、新型コロナ 1名」  
 三浦医院(富士宮市)「インフルエンザ 28名、新型コロナ 3名」  
 おおつ内科小児科(磐田市)「インフルエンザB型 5名」  
 伊藤医院(磐田市)「インフルエンザB型 4名」  
 きもと小児科(湖西市)「インフルエンザB型 30名」  
 しむら内科・消化器クリニック(磐田市)「インフルエンザ B型1名」  
 総合病院浜松赤十字病院(小児科)(浜松市)「インフルエンザB型 1名」  
 浜松医療センター(浜松市)「ヒトメタニューモ 1名」  
 クリニックパパ(浜松市)「ヒトメタニューモ 4名、咽頭アデノ 2名、インフルエンザA型 4名、インフルエンザB型 29名」  
 げんきこどもクリニック(浜松市)「インフルエンザB型 12名」  
 いぬかい小児科(浜松市)「インフルエンザA型 1名、インフルエンザB型 19名」  
 幸田子供クリニック(浜松市)「ヒトメタニューモ 2名、インフルエンザB型 13名」  
 天竜こども医院(浜松市)「川崎病 1名、インフルエンザA型 1名、インフルエンザB型 27名」  
 春野診療所(浜松市)「インフルエンザB型 4名」  
 小児科竹内医院(浜松市)「インフルエンザB型 4名」  
 縣医院(浜松市)「インフルエンザB型 14名」  
 おおば小児科(浜松市)「インフルエンザA型 5名、インフルエンザB型 19名」  
 くまがいくリニック(浜松市)「インフルエンザA型 1名、インフルエンザB型 2名」  
 大竹内科医院(浜松市)「インフルエンザA型 2名、インフルエンザB型 7名」  
 みかえ内科クリニック(浜松市)「インフルエンザB型 2名」

※特記事項欄コメントによるインフルエンザ型別状況(2023-2024 シーズン累計)

週	インフルエンザA型		インフルエンザB型	
	報告数	割合	報告数	割合
第1週	429名	91.1%	42名	8.9%
第2週	614名	86.6%	95名	13.4%
第3週	714名	83.4%	142名	16.6%
第4週	569名	71.9%	222名	28.1%
第5週	435名	50.1%	434名	49.9%
第6週	273名	33.7%	538名	66.3%
第7週	135名	17.7%	626名	82.3%
第8週	82名	14.0%	502名	86.0%
第9週	60名	14.2%	362名	85.8%
第10週	64名	8.8%	661名	91.2%
第11週	73名	7.6%	888名	92.4%
第12週	54名	5.9%	856名	94.1%
第13週	66名	9.1%	661名	90.9%
シーズン総計	31,183名	82.6%	6,568名	17.4%



# 4 全数報告感染症集計表

2024年 第13週

疾患名	区分	静岡県						全国					
		第8週	第9週	第10週	第11週	第12週	今週	年累計	第10週	第11週	第12週	今週	年累計
エボラ出血熱	1類												
クリミア・コンゴ出血熱													
痘そう													
南米出血熱													
ペスト													
マールブルグ病													
ラッサ熱	2類												
急性灰白髄炎													
結核		5	3		2	7	1	100	227	199	223	271	3,358
ジフテリア													
重症急性呼吸器症候群(SARS)													
中東呼吸器症候群(MERS)													
鳥インフルエンザH5N1	3類												
鳥インフルエンザH7N9													
コレラ													
細菌性赤痢										2	1	1	12
腸管出血性大腸菌感染症								4	21	26	22	34	312
腸チフス										1		2	6
パラチフス	4類												1
E型肝炎							1		9	4	8	7	130
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
A型肝炎									3	1	3	2	23
エキノкокクス症									1	1			2
エムボックス												1	10
糞熱	5類												
オウム病													
オムスク出血熱													
回腸熱													1
キャサスル森林病													
Q熱													6
狂犬病	6類												
コクシジオイデス症													
ジカウイルス感染症													
重症熱性血小板減少症候群									1	1	1	1	9
腎臓出血熱													
西部ウマ脳炎													
ダニ媒介脳炎	7類												
炭疽													
チクングニア熱													
つつが虫病								1	3		1		58
デング熱									2	7	5	2	39
東部ウマ脳炎		8類											
鳥インフルエンザ													
ニバウイルス感染症													
日本紅斑熱													3
日本脳炎													1
ハンタウイルス肺症候群													
Bウイルス病	9類												
鼻疽													
ブルセラ症													
ペネズエラウマ脳炎													
ヘンドラウイルス感染症													
発しんチフス													
ボツリヌス症	10類												
マラリア											1		5
野兔病													
ライム病													
リッサウイルス感染症													
リフトバレー熱													
類鼻疽	11類												
レジオネラ症					1			12	34	20	27	18	409
レプトスピラ症													1
ロッキー山紅斑熱													
アメーバ赤痢								3	7	6	3	9	129
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)									3	4	5	3	43
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	12類						2	21	27	19	25	431	
急性弛緩性麻痺													6
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)		3						9	8	6	5	5	167
クリプトスポリジウム症									2		1		6
クロイツフェルト・ヤコブ病									4	2	2	3	47
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1			1			10	36	32	25	31	596
後天性免疫不全症候群	1	1					1	9	15	4	13	233	
ジアルジア症								1		2	1	10	
優勢性インフルエンザ菌感染症	1						1	9	6	4	13	159	
優勢性髄膜炎菌感染症								2				9	
優勢性肺炎球菌感染症					1		18	21	32	42	34	673	
水痘(入院例に限る)							4	12	7	2	8	106	
先天性風しん症候群	13類												
梅毒		5	2	1	6	2	2	64	191	181	130	145	3,053
播種性クリプトкокクス症									4	6	4	4	51
破傷風								1	2	1	1		17
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症						1		5	3	1	2	1	31
百日咳							1	10	6	4	14	140	
風しん										1		2	
麻疹								8	9	1		21	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	14類												
新型インフルエンザ等感染症													

※次週以降に届出の追加や取り下げがあった場合、この表では、前週以前の届出数に反映されません。(「今週」と「年累計」は、現時点での正しい届出数です。前週以前の届出数はその後、増減している可能性があります。)

※令和5年5月26日から「サル痘」は「エムボックス」に、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」は「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」に名称が変更されました。



## 5 定点把握感染症集計表

### 定点把握感染症集計表(届出数)

2024年 第 13 週

	静岡県							全国					
	第8週	第9週	第10週	第11週	第12週	今週	計	第10週	第11週	第12週	今週	計	
小児科	RSウイルス感染症	5	11	15	19	22	39	111	1,171	1,491	1,812	2,494	6,968
	咽頭結膜熱	52	76	85	93	74	53	433	2,747	2,593	2,199	1,970	9,509
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	351	334	369	395	337	291	2,077	13,808	14,055	11,523	11,175	50,561
	感染性胃腸炎	435	398	480	388	300	297	2,298	17,577	16,677	13,441	12,886	60,581
	水痘	11	5	9	22	8	8	63	428	433	409	407	1,677
	手足口病	3	3	9	4	3	11	33	545	652	522	609	2,328
	伝染性紅斑	2	3	4	1	1	2	13	68	63	53	87	271
	突発性発しん	12	24	22	21	22	24	125	634	702	657	705	2,698
	ヘルパンギーナ			1	1	1		3	80	63	70	77	290
	流行性耳下腺炎	7	4	5	5	3	5	29	78	79	80	81	318
	小・内	インフルエンザ	1,307	1,177	1,663	2,280	2,160	1,689	10,276	79,643	85,162	69,510	55,189
新型コロナウイルス感染症		1,402	1,032	885	957	708	653	5,637	32,236	30,316	25,727	25,179	113,458
眼科	急性出血性結膜炎								12	6	12	8	38
	流行性角結膜炎	4	6	4	2	3	7	26	297	265	286	356	1,204
基幹	細菌性髄膜炎	1						1	9	13	10	10	42
	無菌性髄膜炎			2				2	11	15	13	6	45
	マイコプラズマ肺炎			3		2	3	8	56	50	40	43	189
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									1	3		4
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								6	7	12	6	31

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

## 定点把握感染症集計表(定点当り患者数)

2024年 第13週

		静岡県					全国				
		第8週	第9週	第10週	第11週	第12週	今週	第10週	第11週	第12週	今週
小児科	RSウイルス感染症	0.06	0.12	0.17	0.21	0.25	0.44	0.37	0.48	0.58	0.80
	咽頭結膜熱	0.58	0.85	0.96	1.04	0.83	0.60	0.88	0.83	0.70	0.63
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.94	3.75	4.15	4.44	3.79	3.27	4.41	4.48	3.67	3.57
	感染性胃腸炎	4.89	4.47	5.39	4.36	3.37	3.34	5.61	5.32	4.28	4.11
	水痘	0.12	0.06	0.10	0.25	0.09	0.09	0.14	0.14	0.13	0.13
	手足口病	0.03	0.03	0.10	0.04	0.03	0.12	0.17	0.21	0.17	0.19
	伝染性紅斑	0.02	0.03	0.04	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03
	突発性発しん	0.13	0.27	0.25	0.24	0.25	0.27	0.20	0.22	0.21	0.22
	ヘルパンギーナ			0.01	0.01	0.01		0.03	0.02	0.02	0.02
流行性耳下腺炎	0.08	0.04	0.06	0.06	0.03	0.06	0.02	0.03	0.03	0.03	
小・内科	インフルエンザ	9.40	8.47	11.96	16.40	15.54	12.15	16.14	17.26	14.08	11.18
	新型コロナウイルス感染症	10.09	7.42	6.37	6.88	5.09	4.70	6.53	6.15	5.21	5.10
眼科	急性出血性結膜炎							0.02	0.01	0.02	0.01
	流行性角結膜炎	0.18	0.27	0.18	0.09	0.14	0.14	0.43	0.38	0.41	0.51
基幹	細菌性髄膜炎	0.10						0.02	0.03	0.02	0.02
	無菌性髄膜炎			0.20				0.02	0.03	0.03	0.01
	マイコプラズマ肺炎			0.30		0.20	0.30	0.12	0.10	0.08	0.09
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							-	0.00	0.01	-
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.01	0.01	0.02	0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

## 保健所別定点把握感染症集計表(定点当り)

### 第 13 週 定点把握感染症 保健所別状況

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	39	0.44	53	0.60	291	3.27	297	3.34	8	0.09
賀茂			2	1.00			18	9.00		
熱海			1	0.25	8	2.00	10	2.50	2	0.50
東部	13	1.00	11	0.85	40	3.08	22	1.69		
御殿場	2	0.50	16	4.00	100	25.00	16	4.00		
富士			2	0.22	9	1.00	21	2.33	3	0.33
静岡市	12	0.75	14	0.88	64	4.00	50	3.13	1	0.06
中部	1	0.09	1	0.09	25	2.27	45	4.09		
西部	5	0.42	2	0.17	7	0.58	57	4.75		
浜松市	6	0.33	4	0.22	38	2.11	58	3.22	2	0.11

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	11	0.12	2	0.02	24	0.27	0		5	0.06
賀茂										
熱海					1	0.25				
東部	2	0.15			6	0.46			1	0.08
御殿場	2	0.50			3	0.75			1	0.25
富士			1	0.11	1	0.11				
静岡市	1	0.06			2	0.13				
中部					2	0.18			3	0.27
西部	1	0.08	1	0.08						
浜松市	5	0.28			9	0.50				

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症				指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	注意報基準値	警報基準値	小児科	内科
総数	1689	12.15	653	4.70	8.0	16.0	0	50
賀茂	25	8.33	13	4.33	13.0	26.0		1
熱海	60	10.00	37	6.17	9.0	18.0		2
東部	205	10.25	67	3.35	8.0	16.0		7
御殿場	314	52.33	96	16.00	17.0	34.0		2
富士	208	13.87	95	6.33	11.0	22.0		6
静岡市	201	8.04	112	4.48	6.0	12.0		9
中部	257	15.12	63	3.71	8.0	16.0		6
西部	168	8.84	90	4.74	10.0	20.0		7
浜松市	251	8.96	80	2.86	7.0	14.0		10

\*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類(定点把握対象)に追加されました。

## 保健所別定点把握感染症集計表(定点当り)

### 第 13 週      定点把握感染症   保健所別状況

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		7	0.32	0		0		3	0.30
賀茂										
熱海									2	2.00
東部			2	0.50						
御殿場										
富士			4	1.33						
静岡市										
中部			1	0.33						
西部										
浜松市									1	0.50

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

\*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

\*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

# 定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

2024年 第13週

年齢階級区分(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上	計						
RSウイルス感染症	5	4	18	4	6			1						1	39						
咽頭結膜熱	1	1	7	12	4	11	9	2	3	1	1	1			53						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	8	14	36	34	44	35	23	23	18	38	5	12	291						
感染性胃腸炎	2	9	32	22	29	27	35	35	16	14	16	30	4	26	297						
水痘					1		1		1	2		3			8						
手足口病			5	2	1			2				1			11						
伝染性紅斑				1					1						2						
突発性発しん		6	14	2	1		1								24						
ヘルパンギーナ																					
流行性耳下腺炎				1				3			1				5						
年齢階級区分(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
インフルエンザ	7	10	33	45	49	64	94	105	116	123	104	449	199	53	103	81	23	17	5	9	1,689
新型コロナウイルス感染症	10	13	20	7	20	9	12	2	6	6	4	31	29	58	63	58	83	64	77	81	653
年齢階級区分(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計	
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎				1		1									2	3					7
年齢階級区分(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計				
細菌性髄膜炎																					
無菌性髄膜炎																					
マイコプラズマ肺炎		1		1		1															3
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					

# 定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

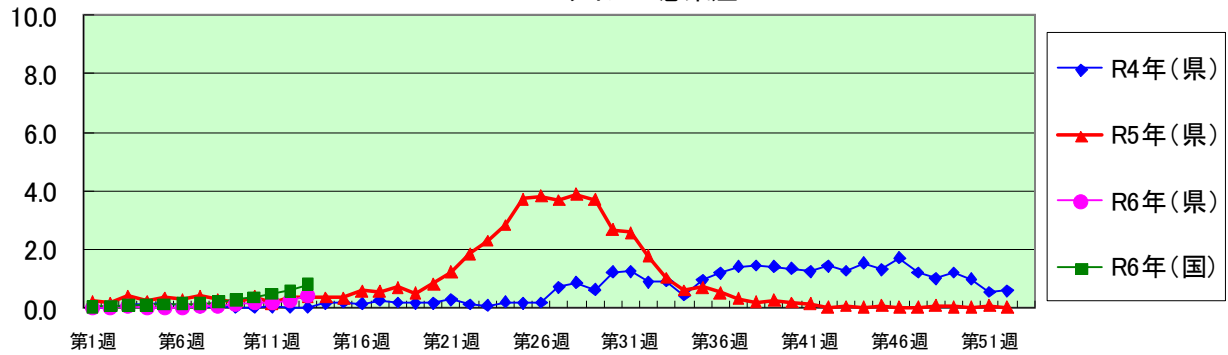
2024年 第13週

年齢階級区分(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計	
RSウイルス感染症	0.06	0.04	0.20	0.04	0.07			0.01													0.01	0.44
咽頭結膜熱	0.01	0.01	0.08	0.13	0.04	0.12	0.10	0.02	0.03	0.01	0.01	0.01										0.60
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.01	0.09	0.16	0.40	0.38	0.49	0.39	0.26	0.26	0.20	0.43	0.06	0.13								3.27
感染性胃腸炎	0.02	0.10	0.36	0.25	0.33	0.30	0.39	0.39	0.18	0.16	0.18	0.34	0.04	0.29								3.34
水痘					0.01		0.01		0.01	0.02		0.03										0.09
手足口病			0.06	0.02	0.01			0.02				0.01										0.12
伝染性紅斑				0.01					0.01													0.02
突発性発しん		0.07	0.16	0.02	0.01		0.01															0.27
ヘルパンギーナ																						
流行性耳下腺炎				0.01				0.03			0.01											0.06
年齢階級区分(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計	
インフルエンザ	0.05	0.07	0.24	0.32	0.35	0.46	0.68	0.76	0.83	0.88	0.75	3.23	1.43	0.38	0.74	0.58	0.17	0.12	0.04	0.06		12.15
新型コロナウイルス感染症	0.07	0.09	0.14	0.05	0.14	0.06	0.09	0.01	0.04	0.04	0.03	0.22	0.21	0.42	0.45	0.42	0.60	0.46	0.55	0.58	4.70	
年齢階級区分(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計		
急性出血性結膜炎																						
流行性角結膜炎				0.05		0.05									0.09	0.14						0.32
年齢階級区分(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計					
細菌性髄膜炎																						
無菌性髄膜炎																						
マイコプラズマ肺炎		0.10		0.10		0.10																0.30
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																						
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																						

## 6 定点把握感染症推移グラフ

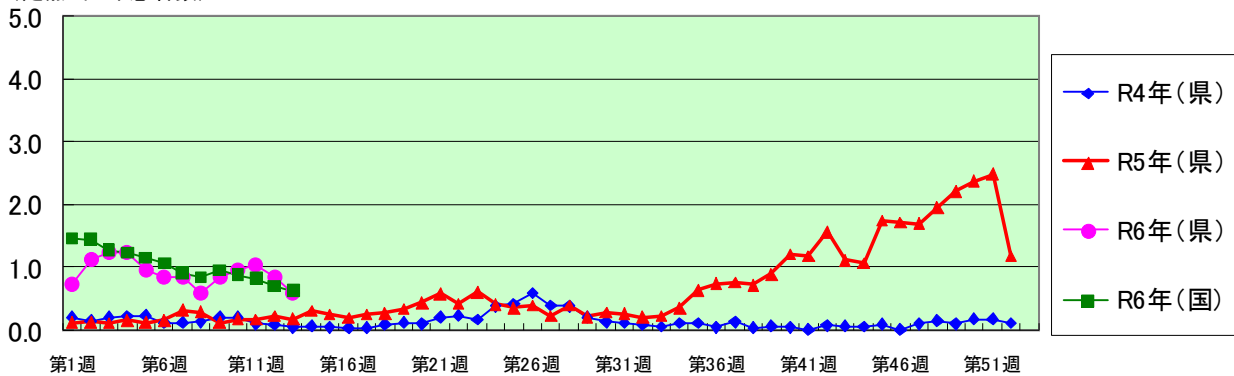
(定点当たり患者数)

RSウイルス感染症



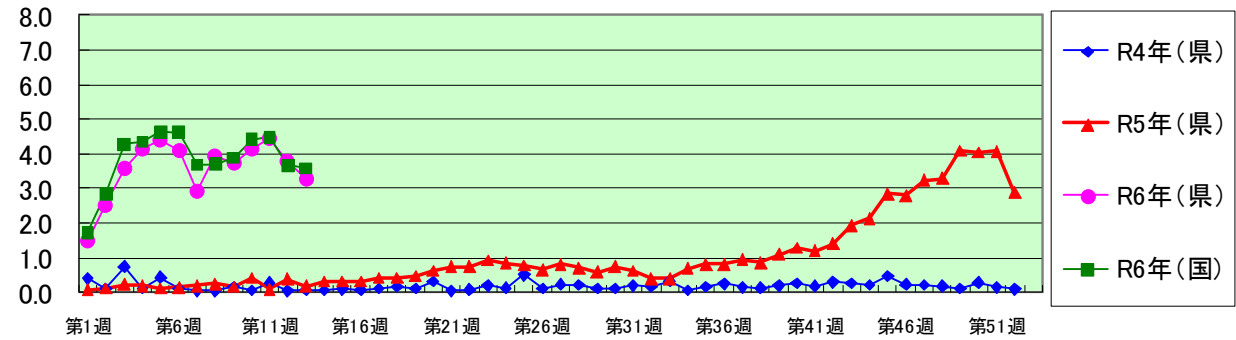
(定点当たり患者数)

咽頭結膜熱 (警報レベル 開始3 終息1)



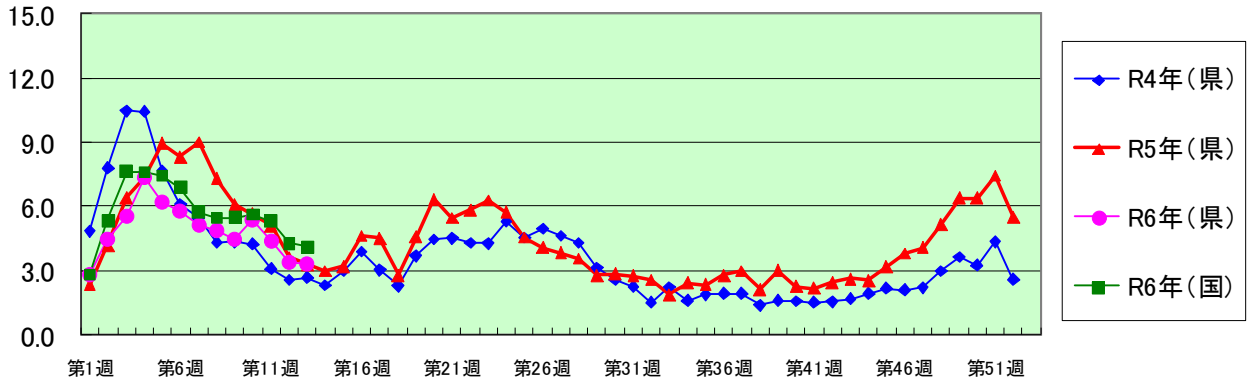
(定点当たり患者数)

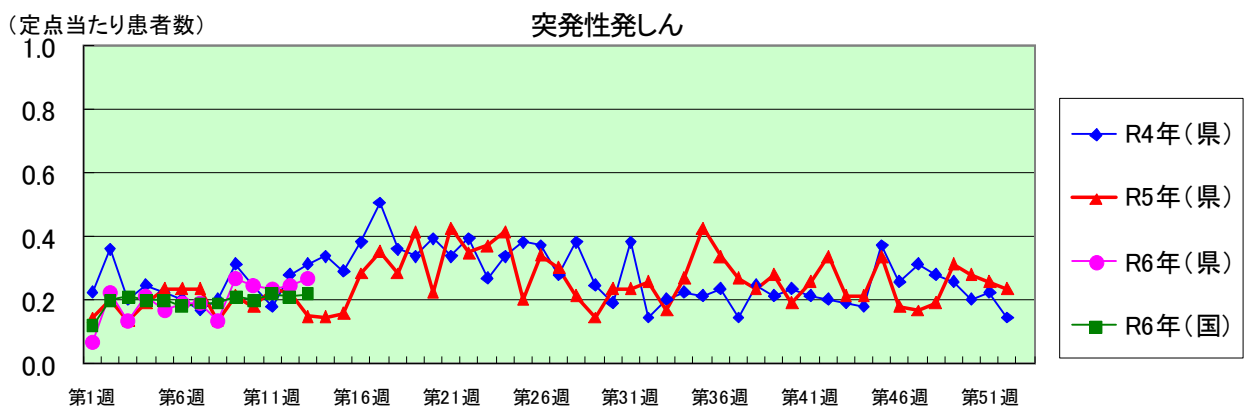
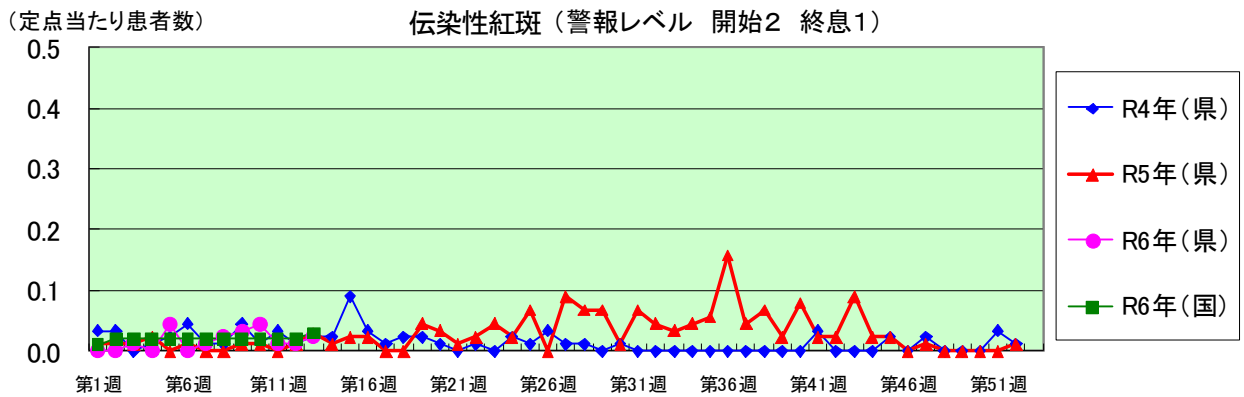
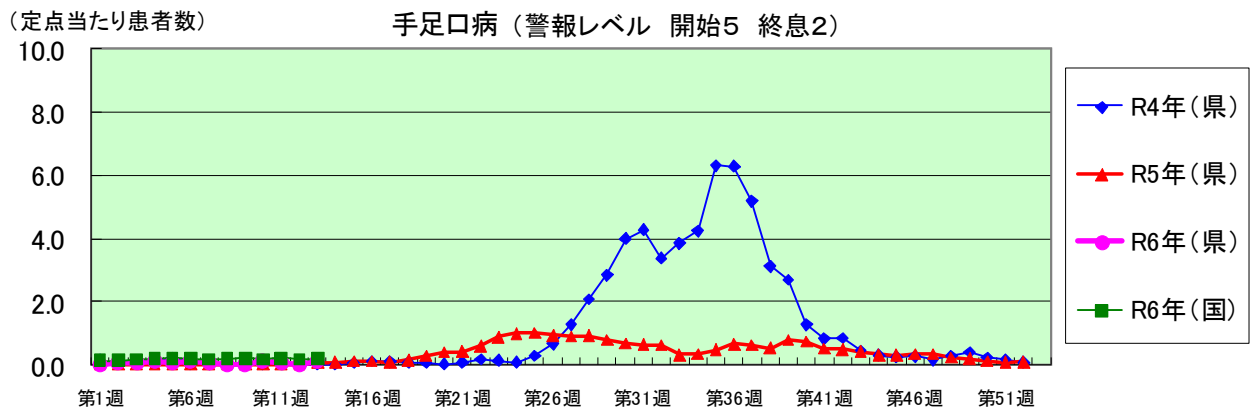
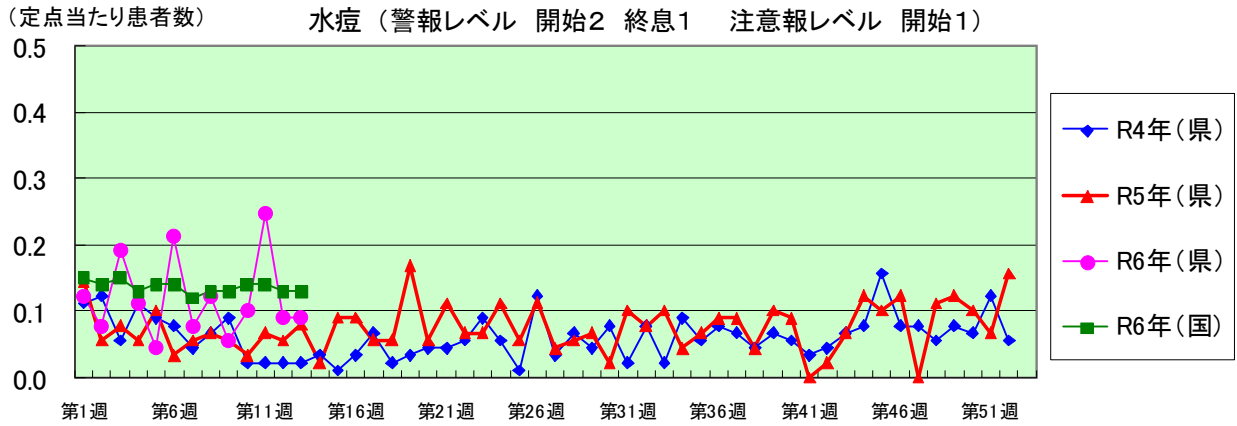
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (警報レベル 開始8 終息4)



(定点当たり患者数)

感染性胃腸炎 (警報レベル 開始20 終息12)

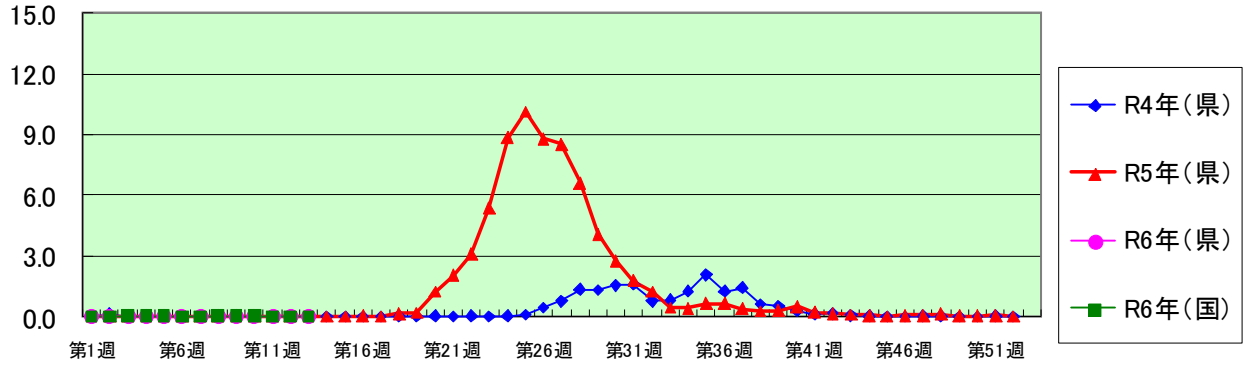






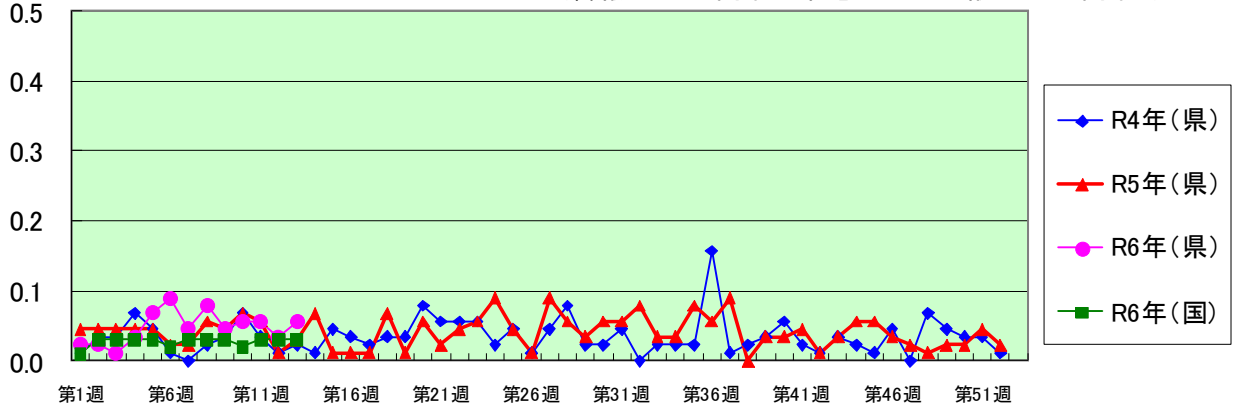
(定点当たり患者数)

### ヘルパンギーナ (警報レベル 開始6 終息2)



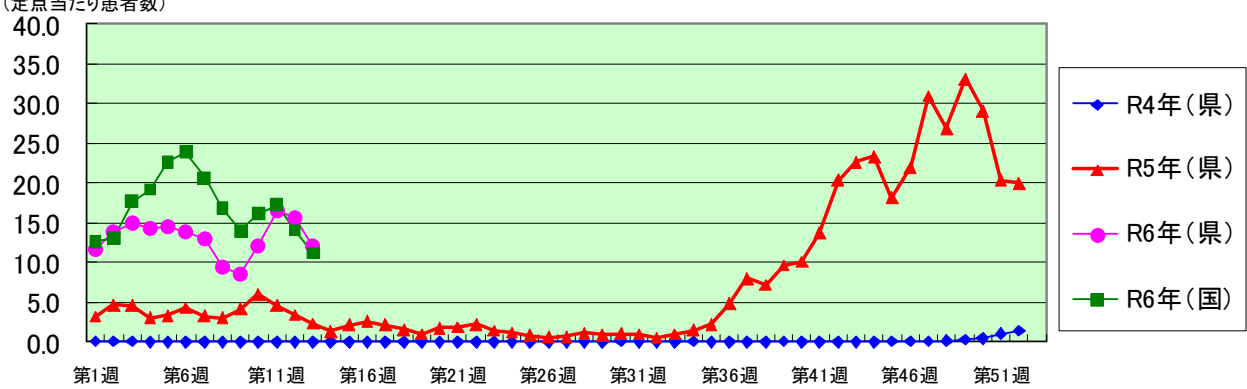
(定点当たり患者数)

### 流行性耳下腺炎 (警報レベル 開始6 終息2 注意報レベル 開始3)



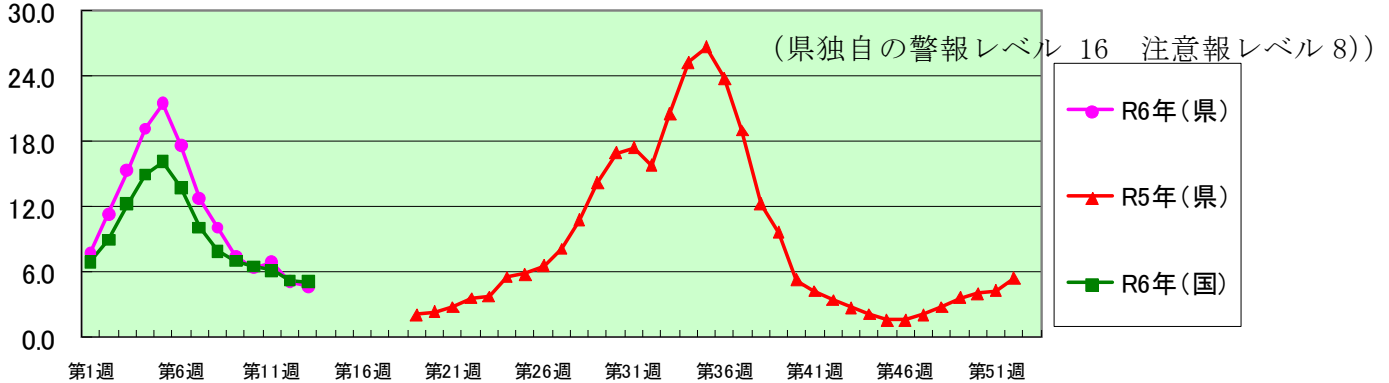
(定点当たり患者数)

### インフルエンザ (警報レベル 開始30 終息10 注意報レベル 開始10 流行開始の目安 1)



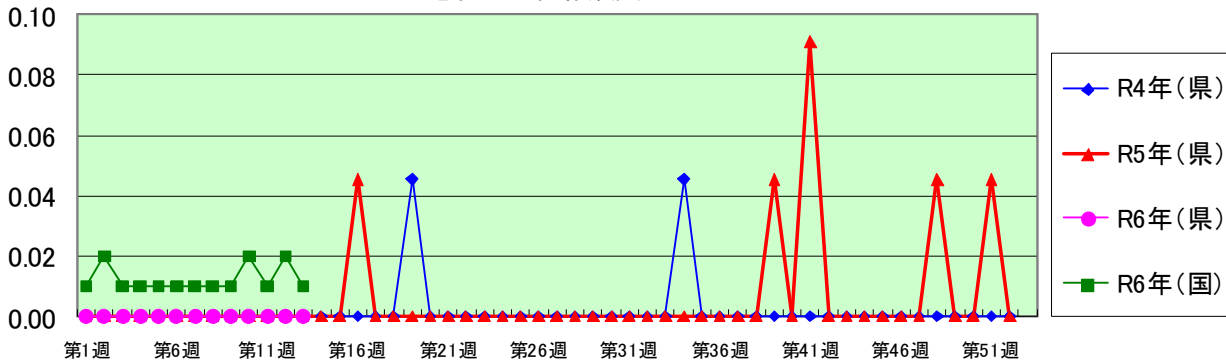
(定点当たり患者数)

### 新型コロナウイルス感染症(県独自の警報レベル16 注意報レベル8)



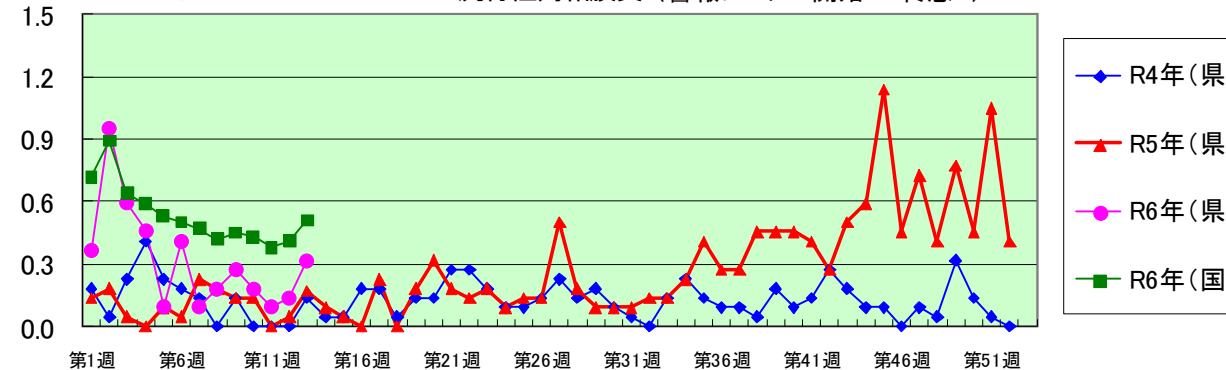
(定点当たり患者数)

### 急性出血性結膜炎 (警報レベル 開始1 終息0.1)



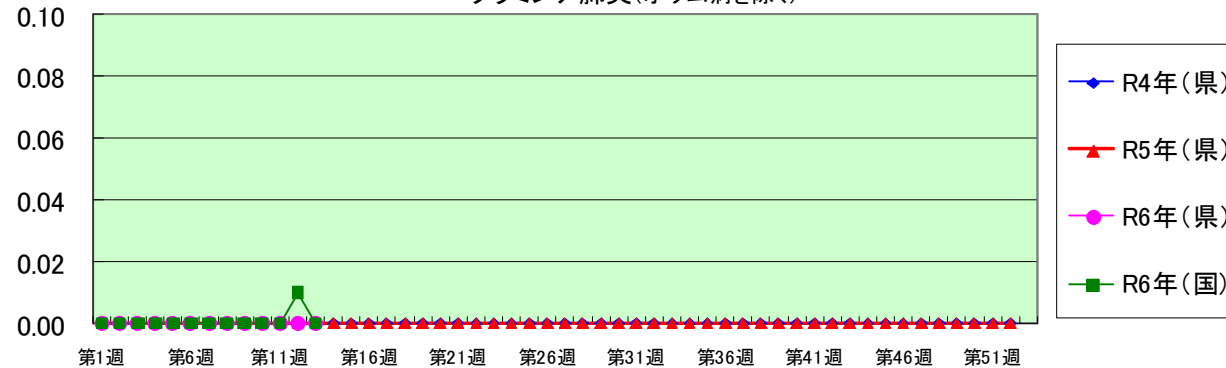
(定点当たり患者数)

### 流行性角結膜炎 (警報レベル 開始8 終息4)



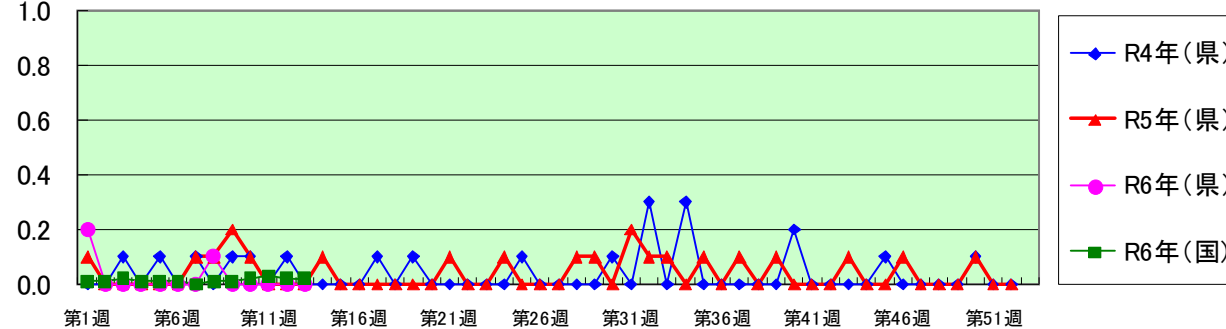
(定点当たり患者数)

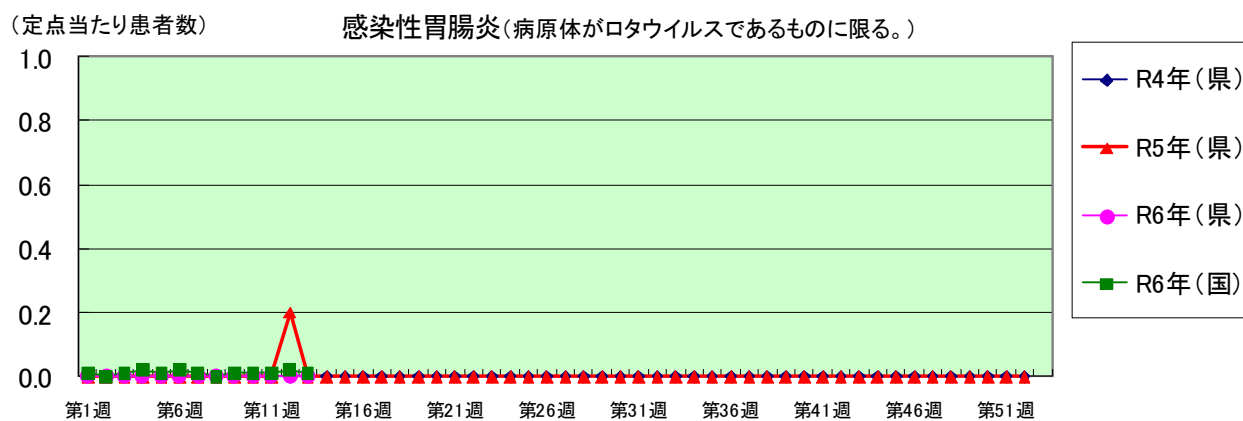
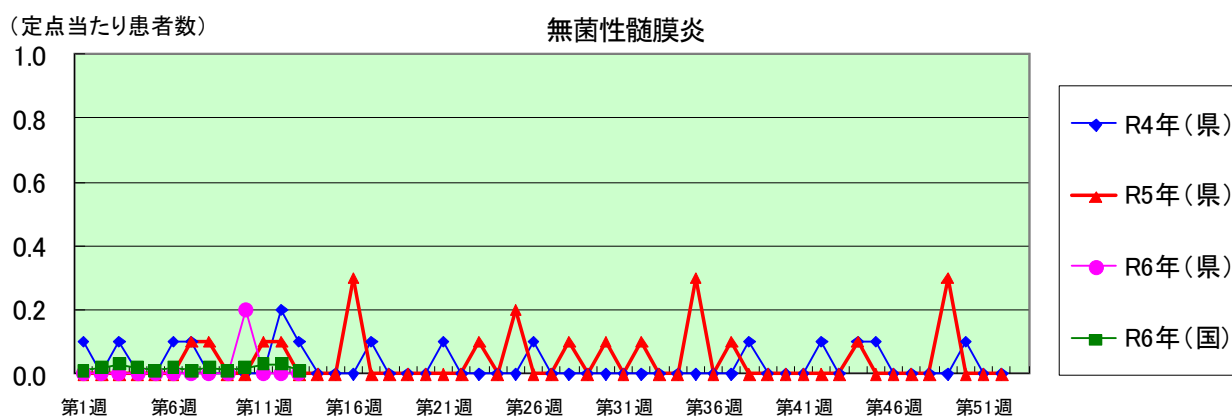
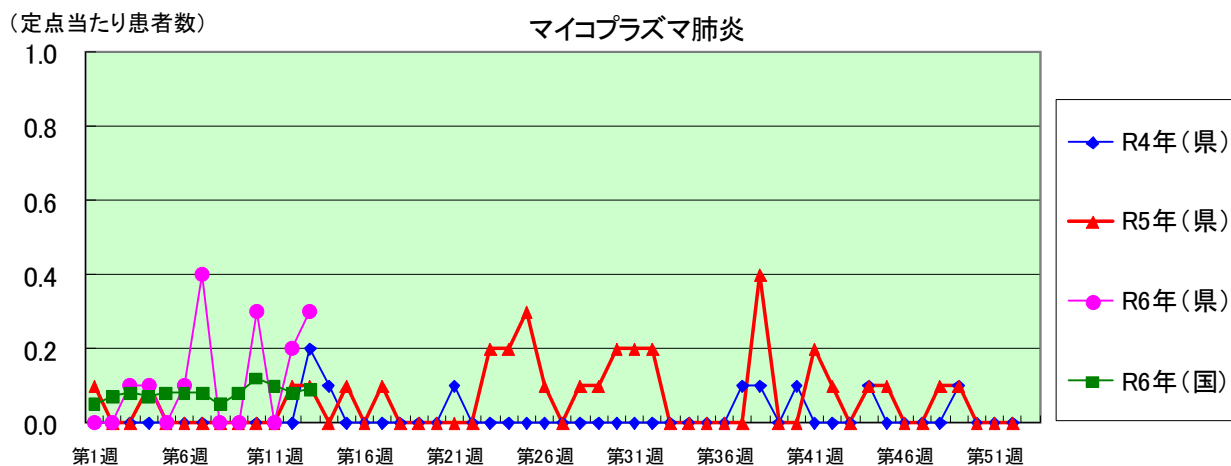
### クラミジア肺炎(オウム病を除く)



(定点当たり患者数)

### 細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)





定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

## 7 定点把握感染症集計表(月報)

### 定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2024年 2 月

	静岡県							全国					
	9月	10月	11月	12月	1月	今月	計	11月	12月	1月	今月	計	
性感染症	性器クラミジア感染症	72	66	61	53	61	56	369	2,437	2,462	2,508	2,346	9,753
	性器ヘルペスウイルス感染症	18	14	23	18	19	16	108	791	798	814	743	3,146
	尖圭コンジローマ	15	11	15	15	13	11	80	528	507	502	487	2,024
	淋菌感染症	20	15	11	13	13	18	90	823	791	852	747	3,213
性感染症 (男女別)	性器クラミジア感染症(男)	23	22	22	16	18	18	119	1,141	1,211	1,274	1,140	4,766
	性器クラミジア感染症(女)	49	44	39	37	43	38	250	1,296	1,251	1,234	1,206	4,987
	性器ヘルペスウイルス感染症(男)	4	7	9	9	5	5	39	280	276	300	292	1,148
	性器ヘルペスウイルス感染症(女)	14	7	14	9	14	11	69	511	522	514	451	1,998
	尖圭コンジローマ(男)	10	6	8	6	8	5	43	343	321	335	327	1,326
	尖圭コンジローマ(女)	5	5	7	9	5	6	37	185	186	167	160	698
	淋菌感染症(男)	12	6	7	9	9	8	51	591	604	670	537	2,402
	淋菌感染症(女)	8	9	4	4	4	10	39	232	187	182	210	811
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	21	21	16	26	27	26	137	1,233	1,356	1,328	1,325	5,242
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								74	88	80	74	316
	薬剤耐性緑膿菌感染症								5	7	6	7	25

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

## 定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2024年 2 月

		静岡県					全国				
		9月	10月	11月	12月	1月	今月	11月	12月	1月	今月
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	2.40	2.20	2.03	1.77	2.03	1.87	2.59	2.51	2.57	2.40
	性器ヘルペスウイルス感染症	0.60	0.47	0.77	0.60	0.63	0.53	0.81	0.81	0.83	0.76
	尖圭コンジローマ	0.50	0.37	0.50	0.50	0.43	0.37	0.54	0.52	0.51	0.50
	淋菌感染症	0.67	0.50	0.37	0.43	0.43	0.60	0.84	0.81	0.87	0.76
性 感 染 症 ( 男 女 別 )	性器クラミジア感染症(男)	0.77	0.73	0.73	0.53	0.60	0.60	1.27	1.24	1.31	1.16
	性器クラミジア感染症(女)	1.63	1.47	1.30	1.23	1.43	1.27	1.32	1.28	1.27	1.23
	性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.13	0.23	0.30	0.30	0.17	0.17	0.29	0.28	0.31	0.30
	性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.47	0.23	0.47	0.30	0.47	0.37	0.52	0.53	0.53	0.46
	尖圭コンジローマ(男)	0.33	0.20	0.27	0.20	0.27	0.17	0.35	0.33	0.34	0.33
	尖圭コンジローマ(女)	0.17	0.17	0.23	0.30	0.17	0.20	0.19	0.19	0.17	0.16
	淋菌感染症(男)	0.40	0.20	0.23	0.37	0.30	0.27	0.60	0.62	0.69	0.55
	淋菌感染症(女)	0.27	0.30	0.13	0.13	0.13	0.33	0.24	0.19	0.19	0.21
基 幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2.10	2.10	1.60	2.60	2.70	2.60	2.58	2.84	2.78	2.77
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							0.15	0.18	0.17	0.15
	薬剤耐性緑膿菌感染症							0.01	0.01	0.01	0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2024年 2 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	56	1.87	16	0.53	11	0.37	18	0.60
賀茂	...	...	...	...	...	...	...	...
熱海	2	2.00						
東部	1	0.20	1	0.20				
御殿場	5	5.00	2	2.00	1	1.00	1	1.00
富士	9	3.00	4	1.33	2	0.67	2	0.67
静岡市	16	2.67	4	0.67	3	0.50	6	1.00
中部	8	2.00	3	0.75			6	1.50
西部	9	1.80	1	0.20	1	0.20	1	0.20
浜松市	6	1.20	1	0.20	4	0.80	2	0.40

保健所名	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	26	2.60	0		0	
賀茂						
熱海	2	2.00				
東部	1	1.00				
御殿場	...	...	...	...	...	...
富士	2	2.00				
静岡市	16	8.00				
中部						
西部	1	1.00				
浜松市	4	2.00				

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

\* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

## 定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

2024年 2 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					5	24	13	9	2		1	1		1			56
性器ヘルペスウイルス感染症						2	4	1	4			3		1		1	16
尖圭コンジローマ						4	1	2	2			1		1			11
淋菌感染症					3	6	6	1			1	1					18
性器クラミジア感染症(男)						7	2	5	2		1			1			18
性器クラミジア感染症(女)					5	17	11	4				1					38
性器ヘルペスウイルス感染症(男)							1	1	1			1				1	5
性器ヘルペスウイルス感染症(女)						2	3		3			2		1			11
尖圭コンジローマ(男)							1		2			1		1			5
尖圭コンジローマ(女)						4		2									6
淋菌感染症(男)					3	2	1				1	1					8
淋菌感染症(女)						4	5	1									10
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症							1			1	1		2	1	2	18	26
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

## 定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

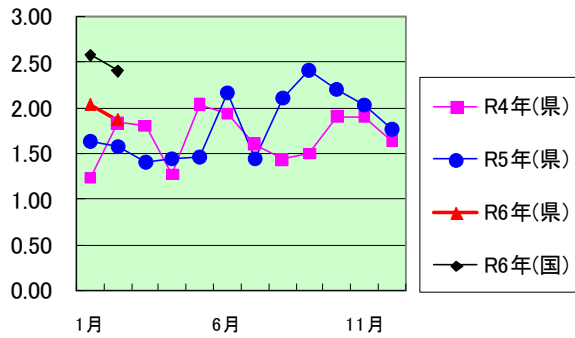
2024年 2 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					0.17	0.80	0.43	0.30	0.07		0.03	0.03		0.03			1.87
性器ヘルペスウイルス感染症						0.07	0.13	0.03	0.13			0.10		0.03		0.03	0.53
尖圭コンジローマ						0.13	0.03	0.07	0.07			0.03		0.03			0.37
淋菌感染症					0.10	0.20	0.20	0.03			0.03	0.03					0.60
性器クラミジア感染症(男)						0.23	0.07	0.17	0.07		0.03			0.03			0.60
性器クラミジア感染症(女)					0.17	0.57	0.37	0.13				0.03					1.27
性器ヘルペスウイルス感染症(男)							0.03	0.03	0.03			0.03				0.03	0.17
性器ヘルペスウイルス感染症(女)						0.07	0.10		0.10			0.07		0.03			0.37
尖圭コンジローマ(男)							0.03		0.07			0.03		0.03			0.17
尖圭コンジローマ(女)						0.13		0.07									0.20
淋菌感染症(男)					0.10	0.07	0.03				0.03	0.03					0.27
淋菌感染症(女)						0.13	0.17	0.03									0.33
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症							0.10			0.10	0.10		0.20	0.10	0.20	1.80	2.60
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

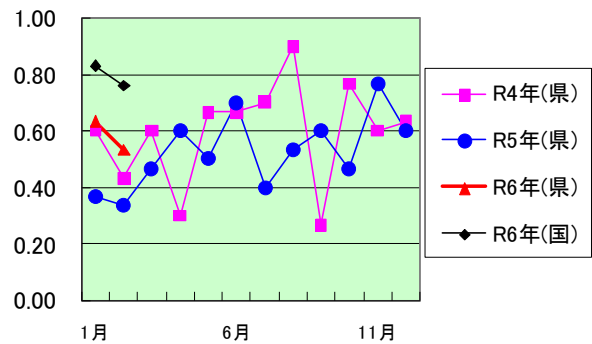


## 8 定点把握感染症推移グラフ(月報)

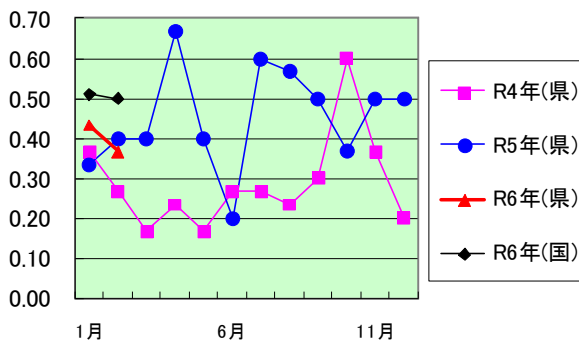
性器クラミジア感染症



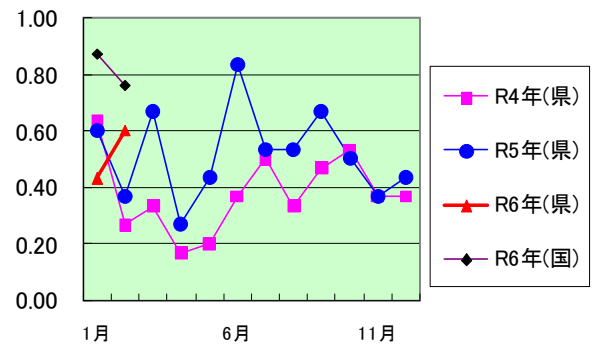
性器ヘルペスウイルス感染症



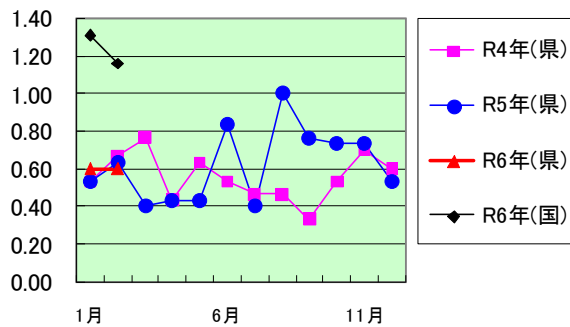
尖圭コンジローマ



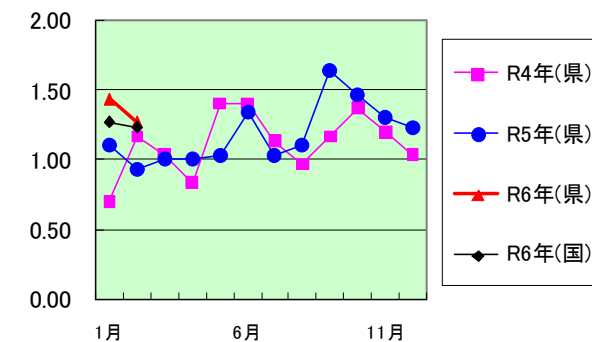
淋菌感染症



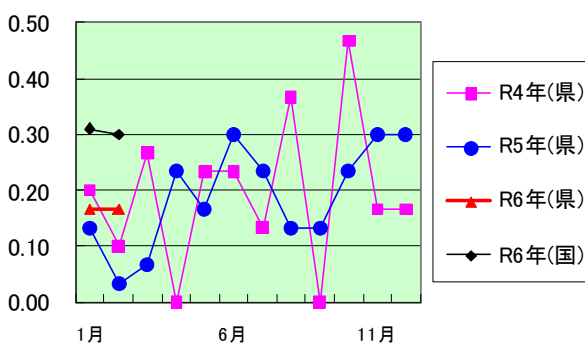
性器クラミジア感染症(男)



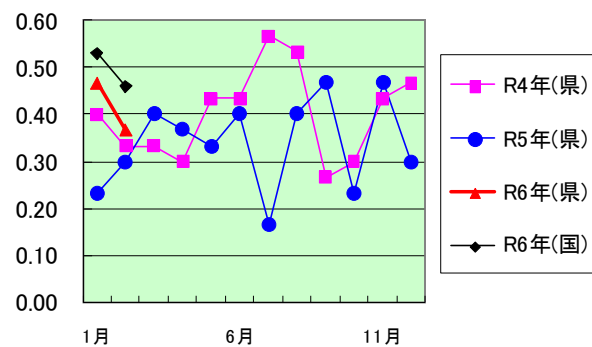
性器クラミジア感染症(女)



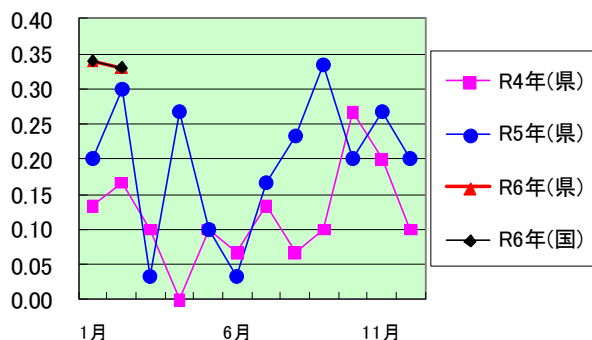
性器ヘルペスウイルス感染症(男)



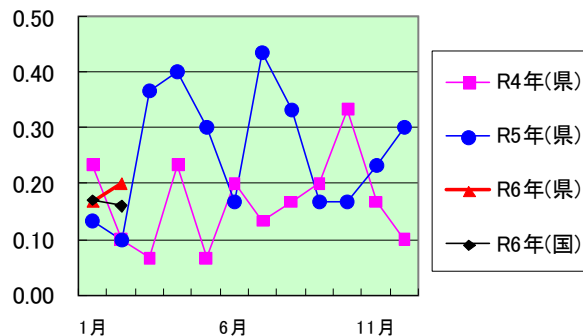
性器ヘルペスウイルス感染症(女)



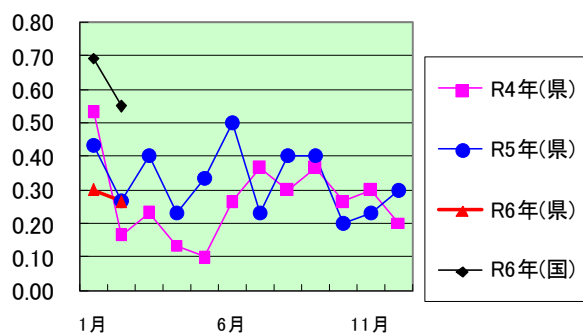
尖圭コンジローマ(男)



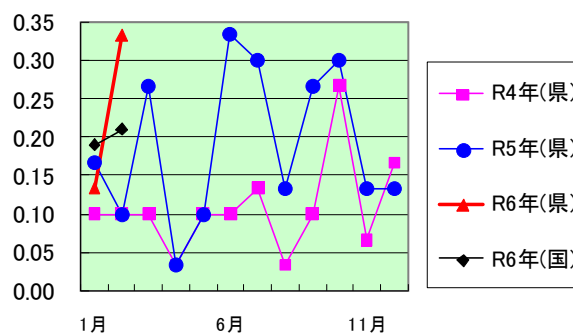
尖圭コンジローマ(女)



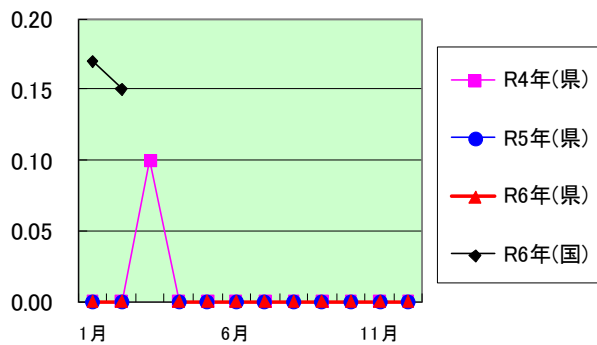
淋菌感染症(男)



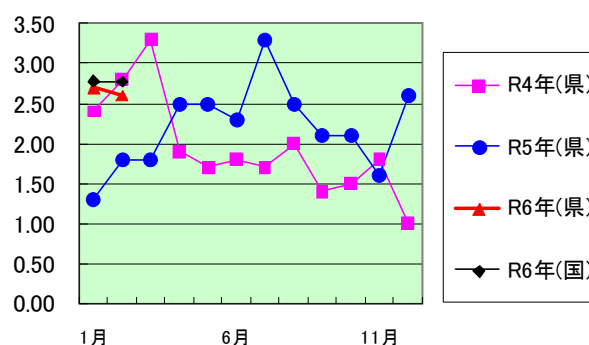
淋菌感染症(女)



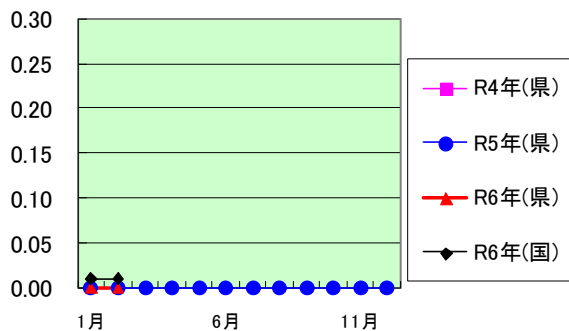
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

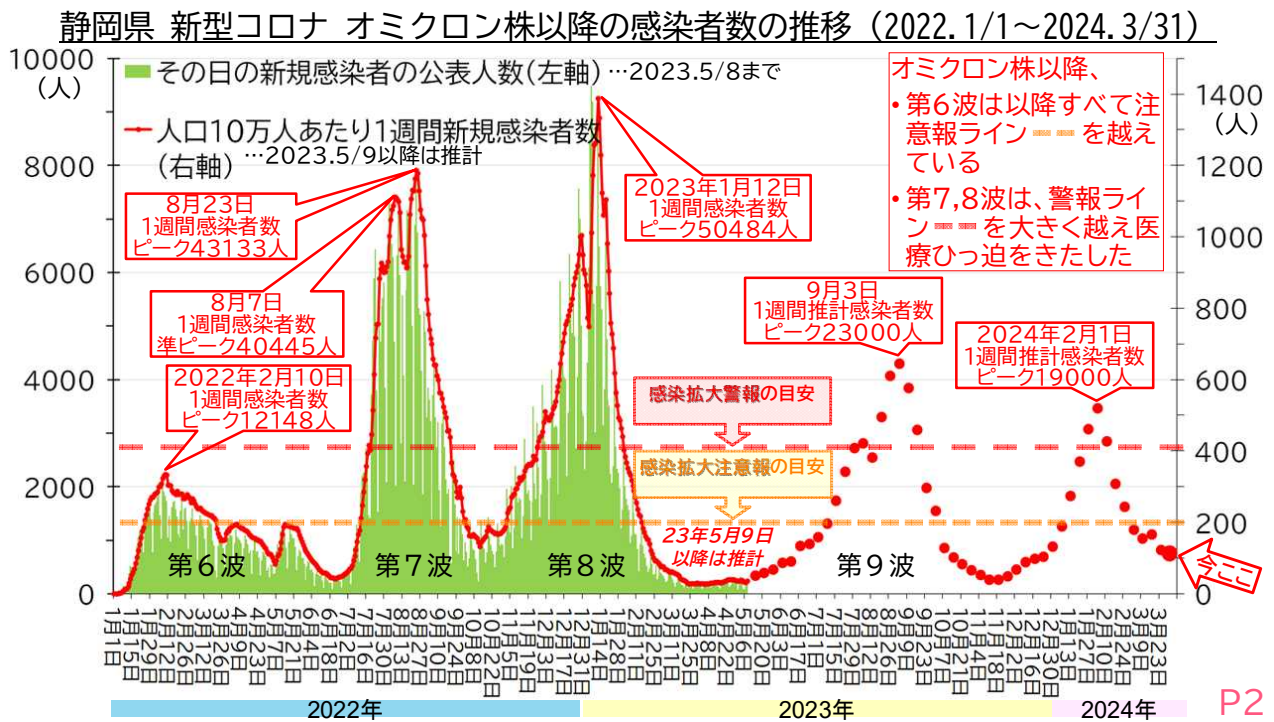
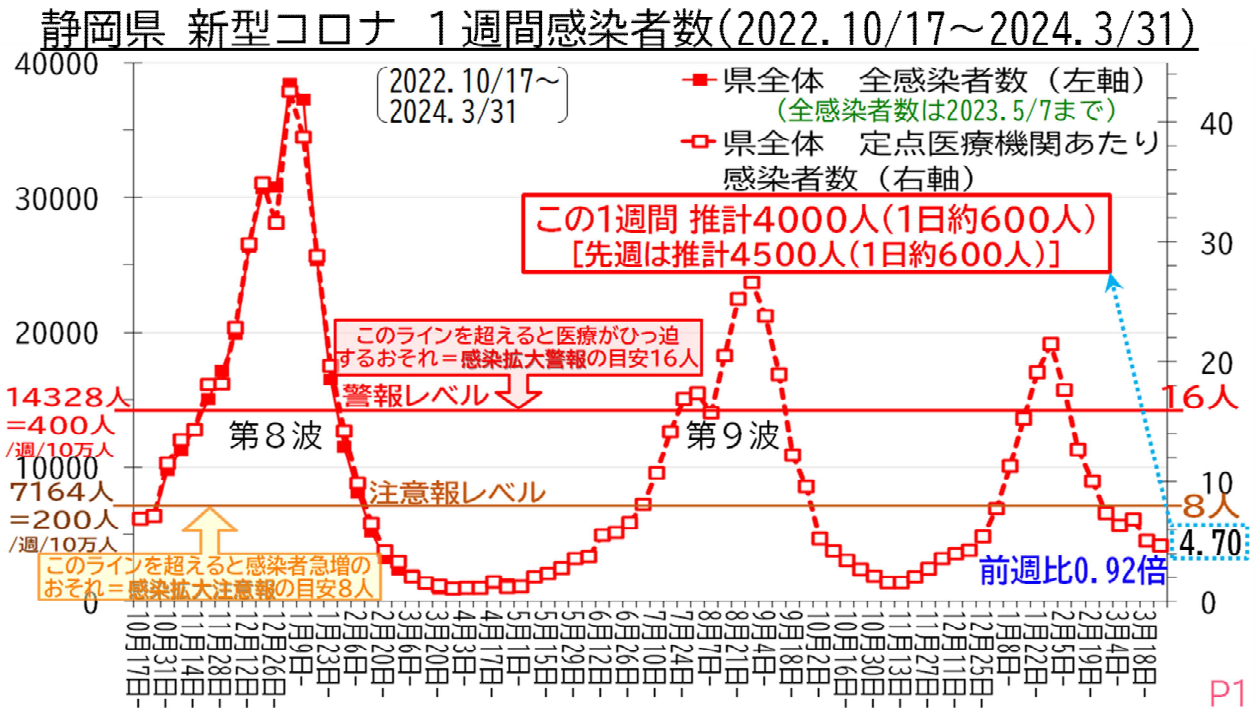


薬剤耐性緑膿菌感染症



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

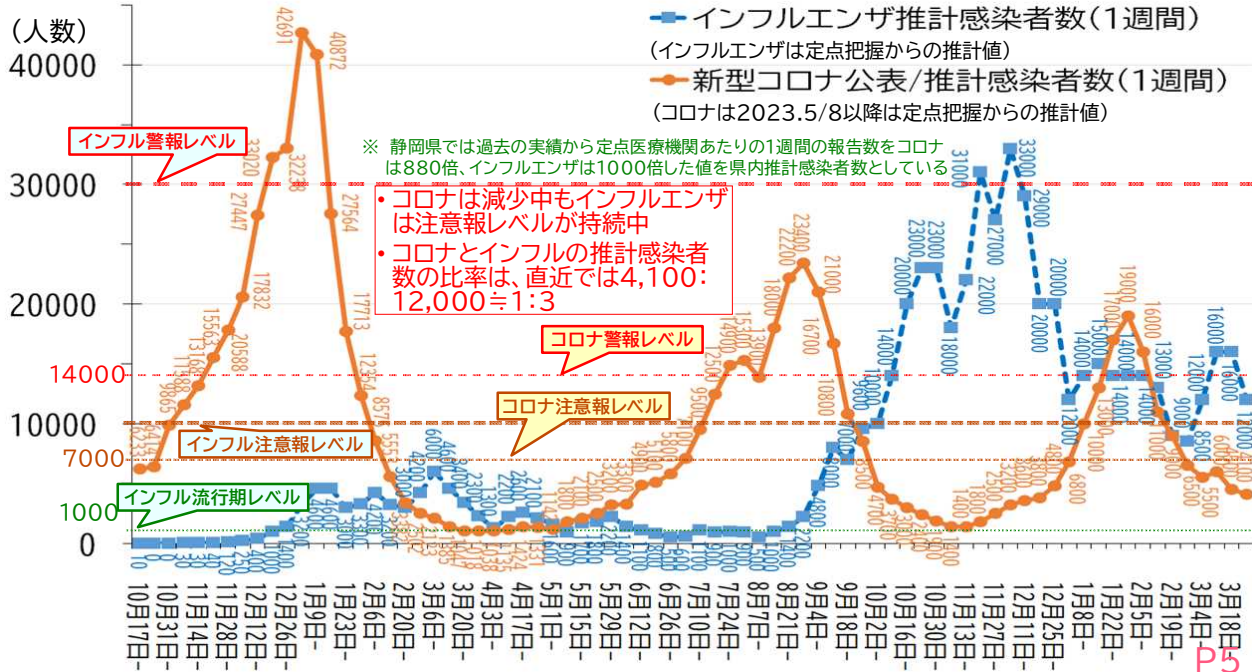
## 9 本県の新型コロナ及びインフルエンザの感染状況の推移等のグラフ



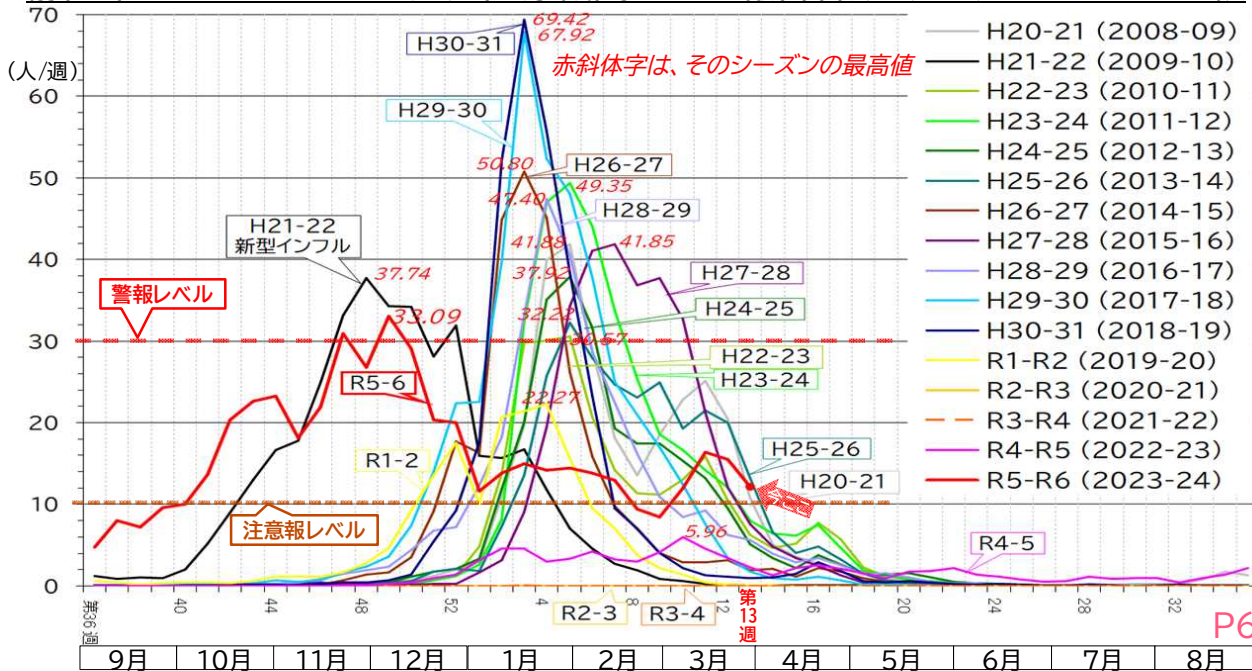




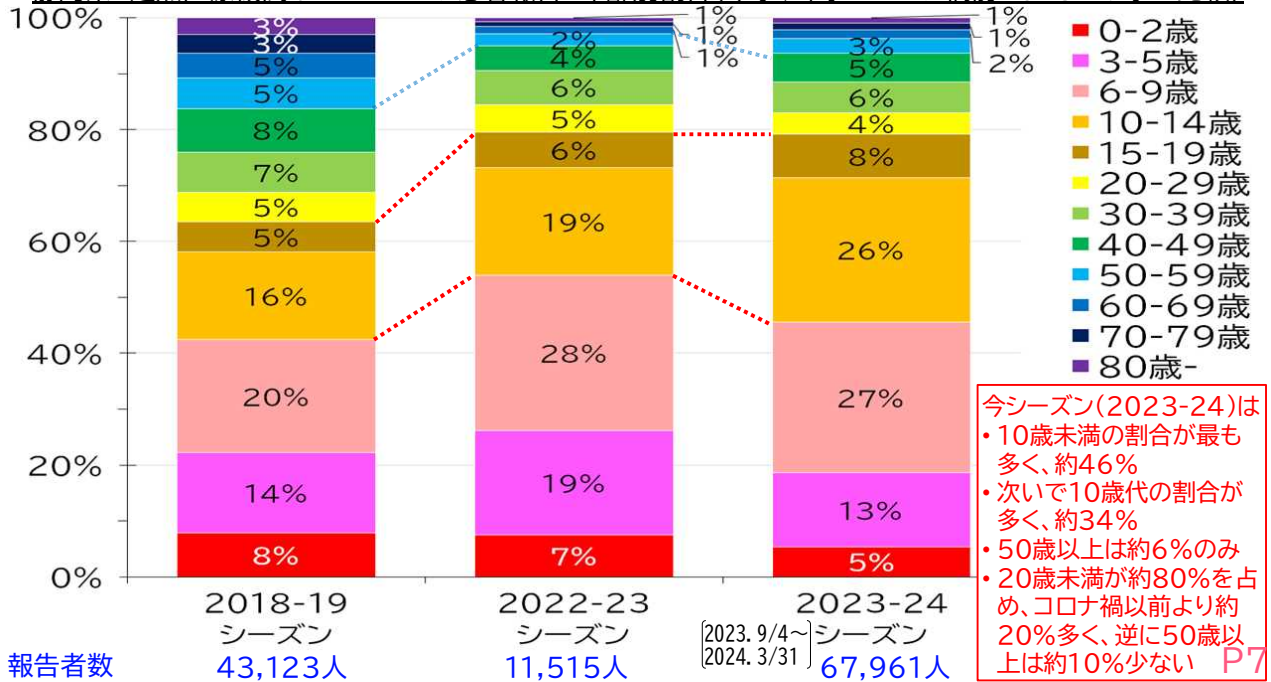
### 静岡県 新型コロナとインフルエンザの流行の状況 (2022.10/24~2024.3/31)



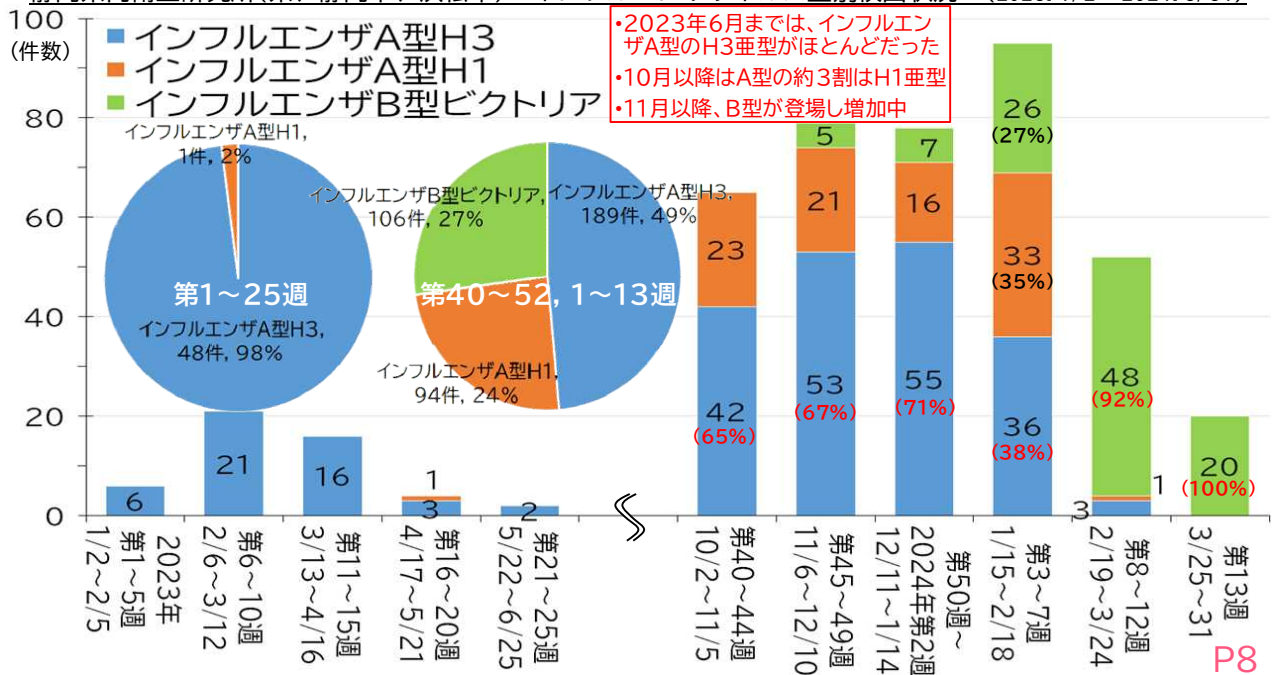
### 静岡県 インフルエンザ 定点医療機関からの報告者数 過去16シーズン比較



静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 年齢別割合(今季、昨季とコロナ禍前2018-19季の比較)



静岡県内衛生研究所(県、静岡市、浜松市) インフルエンザウイルス型別検出状況 (2023.1/2~2024.3/31)



## <インフルエンザ拡大防止のために県民の皆様へ>

### ワクチンの接種について

- ・ インフルエンザによって高齢者や基礎疾患のある方は、重症化することがあり、乳幼児ではまれにインフルエンザ脳症を起こすことがあります。ワクチン接種により、死亡や入院の危険が減少するとされています。
- ・ 今シーズンのインフルエンザワクチンの供給量は、昨シーズンの使用量を超える供給量となります。
- ・ **65歳以上等の定期接種対象者で接種を希望する方は、お早めの接種をお願いします。**
- ・ **定期接種対象者以外でも、特に、基礎疾患のある方や、乳幼児、以前インフルエンザにかかってつらかった方は接種の御検討をお願いします。**

(インフルエンザワクチンの接種によって、インフルエンザの重症化を予防する効果や発症をある程度抑える効果が期待できる一方、接種時の体調によっては副反応などが生じる場合もありますので、かかりつけ医などと相談しつつ、接種を検討いただくようお願いいたします。)

- ・ なお、インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンは同時に接種できます。

### 「うつらない」・「うつさない」ための取組の徹底

- ・ 体調が悪い場合は、人が集まるイベントに参加することは控えましょう。
- ・ 人混みでは、**咳エチケット**（咳やくしゃみが出るときは、マスクを着用するか、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い顔を他の人に向けない）を励行しましょう
- ・ インフルエンザと診断されたら医師の指示を守って服薬し、外出を控えるとともに、家庭内でも咳エチケットを徹底し、十分な休養をとりましょう
- ・ 人が集まる室内では、十分に換気をしましょう
- ・ こまめに手洗いをしましょう
- ・ なるべく密を避けましょう
- ・ 十分な栄養と睡眠をとり、健康管理につとめましょう